



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和4年 6月号

神奈川県立相模原中央支援学校

4月に着任しました教頭の榎本です。教員生活のスタートは相模原養護学校でした。30 数年ぶりに相模原の地での勤務となり、緊張感のある中にもどこか懐かしく思う気持ちで、毎日をご過ごしています。また、開校以来の基本理念「子どもの未来をみんなで創る」ことに、皆様と一緒に精一杯取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いしします。

さて、学校では感染症対策を施しながら、修学旅行や宿泊学習、遠足や校外学習を実施することができました。今月からは水泳もはじまり、一段と賑やかになってきたところです。

これからの季節は雨が多くなり体調も崩しやすくなりますので、引き続き、健康観察の御協力をよろしくお願いいたしします。



(教頭 榎本郁子)

支援連携グループの取組みについて

支援連携グループでは、地域と連携しながらさまざまな活動を行っています。幼児・児童・生徒や保護者の皆さんの学校・家庭・地域生活の充実のための相談、関係機関の方々との連携やネットワークづくりに向けた取組み、及び、地域の方々とのさまざまな交流を通して、子どもたちの自立と社会参加をめざしています。今回は支援連携グループ「3つのチーム」のコロナ禍における取組みについて御紹介しします。

<支援相談チーム>

支援相談チームでは、校内外相談や乳幼児相談、関係機関とのネットワークづくり、福祉サービスの情報提供、研修会講師等を行っています。引き続きコロナ禍の取組みとして地域の巡回相談において時間を短縮しての実施、乳幼児相談は、グループ活動から個別の相談に切り替え、消毒や換気を徹底し対応しています。

<地域連携チーム>

保護者や地域の方々との交流の推進やネットワークづくり等が主な業務です。感染症対策をしながら、今年度は少しずつ地域での作品展やお祭り等が開催予定であり、地域との交流も進めていく予定です。

<進路支援チーム>

進路説明会、事業所見学や進路学習等において、対面に加えオンラインや動画の活用を引き続き進めています。外部関係機関との会議・打合せは、時間・人数のスリム化、オンラインの活用等の対応をしています。

○何かお困りのことなどありましたら、支援連携グループまで御相談ください。

(支援連携グループリーダー 山本里紗)